

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	癒しの森Kidsわかえ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月20日		～ 令和8年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年2月20日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの活動時の居室のスペースが十分に確保されており、子ども達が思い切り身体を動かすことができること。	十分な広さを活かして自由時間にドッジボール等のスポーツや鬼ごっこ等を楽しむことが出来ている。 また、判断トレーニング等の日々のプログラムにおいても十分に動くことが出来ている。	運動系のプログラムをさらに充実させ、子ども達の体力向上を図ることができるよう支援する。 パラバレー等、十分な広さが求められるプログラムを更に増やしていく。
2	生活空間が子どもに分かりやすく構造化された環境になっており、かつ、活動に合わせた空間になっている。	活動するフロアと勉強をするフロアを分けている。勉強するフロアは気持ちを落ち着かせることができる空間としても活用している。 長椅子や多数の椅子を配置しており、子ども自身の意思で休憩することが出来る。	大フロアの片隅にマット等で、周囲から遮断された空間を構成する。 一人になることが出来る環境・スペース作り。
3	適切な個別支援計画の立案、実施がなされており、かつ、多種多様な活動プログラムが実施されている。	クッキング、工作、運動系のプログラム、トレーニング系のプログラム等を立案、実施。固定されたものは少ないため、色々な経験をすることが出来る。また、クッキング、工作においては各曜日において必ず1回は経験できるように立案している。 外出行事も多い。	利用している児童にやりたいことを尋ね、意見・意思を活動プログラムに反映させていく。 季節感を感じ取ることが出来るようなプログラム内容を意識していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ、児童館等との交流に課題。 また、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	放課後等児童クラブや児童館等、地域資源とのつながりが脆弱。 同一グループ内の事業所との交流会はあるが、それ以外の交流は無い。	同一グループ内の事業所間の交流をさらに増やしていく。 また、交流があれば月初に発行している行事予定の依頼等で利用家庭に周知してもらおう。
2	家族等も参加出来る研修会や保護者会等の開催が課題。 保護者同士の交流会が少ない。	年に数回、保護者参加のプログラムを実施している。その中で保護者同士が交流出来る機会を設けているが、独立した保護者会や交流会は行っていない。	保護者参加のプログラムは今後も継続していく。その中で、1つのフロア(別室)を保護者同士が交流出来るスペースとして活用する。
3	各種マニュアルの策定、内容が保護者に周知されていない。 避難訓練の実施、内容の周知も不十分である。	各種マニュアルは策定している。しかし、説明は不十分であり、外部が閲覧できる方法や機会も設けていない。 避難訓練は月初に発行しているお頼りにて報告することは行っているが、見ない方への周知ができていない。	ホームページで閲覧が出来るようにすることも検討していく。 避難訓練については、実施した月は必ずお頼りにて報告するようにする。